

# 「最期まで自宅で生きる」を可能に

ほとんどの方が病院で最期を迎える現代。でも、多くの方は「できる限り住み慣れた自宅で『元気に』暮らしたい」と思っています。

- ・病気が急変したら、どうするの？
- ・家族の負担になるのでは？

在宅での生活への不安や、課題を解消するために、医師や市町村が「在宅医療」に取り組み始めています。

この地域での取組みについて、わかりやすくお話しします。ぜひ、ご参加ください。

日時 平成26年9月7日(日)

午前10時～11時30分

場所 津島市民病院 講義室



## 1) 講演：在宅医療の実際～当院の経験から～

講師：津島市医師会理事 住田啓氏

## 2) 講演：津島市が取り組む「在宅医療と介護の連携」

講師：津島市健康福祉部高齢介護課

医療相談員 福谷大助氏

【主催】

海部地域の医療と健康を推進する協議会・海部地域医療サポーターの会

参加無料（申込不要）

(問合先) 海南病院 総務課 (0567-65-2511)・あま市民病院 事務局 (052-444-0050)

津島市民病院 地域医療連携室 (0567-28-5151)